

「まち・住まいと環境 平成 18 年版 環境報告書」の公表について

UR都市機構は、このたびUR都市機構の環境配慮の取り組みについて広く一般の方々にお知らせするため、「まち・住まいと環境 平成18年版 環境報告書」を作成いたしました。

これは、平成 16 年に成立した「環境配慮促進法」において、平成 17 年度の業務から「環境報告書」の作成・公表が義務付けられたことに対応したもので、今回が初めての公表になります。

この報告書の中では、UR都市機構がまちや住まいづくりを進めていくにあたり、環境について配慮すべき視点をまとめ「環境配慮方針」として示すとともに、UR都市機構の環境配慮の取り組みをそれぞれの視点に分けて紹介しています。また、UR都市機構として作成する初めての環境報告書であることから、昭和 30 年の日本住宅公団発足以来の約50年にわたる環境への取り組みについても紹介しています。

環境報告書は、年次報告書という形で、今後毎年作成・公表することとなりますが、この報告書の公表によって、皆様と双方向のコミュニケーションを図り広くご意見をお伺いして、業務の改善に努めていくこととしております。

なお、本報告書は、www.ur-net.go.jp/e-report/からもご覧いただけます。

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 都市環境企画室

(電話) 045-650-0154

本社 カスタマーコミュニケーション室 報道担当

(電話) 045-650-0887

—— 街に、ルネッサンス ——



UR都市機構

『まち・住まいと環境 平成18年版 環境報告書』の概要

この環境報告書は、UR都市機構の全ての組織における平成17年度の業務に関する環境配慮の取り組みについて報告するために作成したものです。まちや住まいづくりを進めていくにあたり、環境について配慮すべき視点を「環境配慮方針」として示し、その項目ごとに、平成17年度の取り組みについて、これまでの50年におよぶ取り組みも含めて紹介しています。

— 環境配慮方針と主な記載内容 —

1. 環境にやさしいまちや住まいをつくります

①都市の自然環境の保全・再生に努めます

600万本を超える植栽による緑地の創出／ニュータウン整備における自然環境の保全
【つくばエクスプレス沿線の環境共生型まちづくり】 ほか

②まちや住まいの省エネルギー化を進めます

コージェネレーションシステムの導入／省エネ機器の設置／太陽光発電の実施
【集合住宅における燃料電池システム導入に向けた共同研究】 ほか

③資源の有効利用と廃棄物の削減に努めます

UR賃貸住宅の再生・活用／省資源設備の設置／KSI住宅システムの開発
【コンクリート塊リサイクルシステムの実用範囲の拡大】 ほか

④まちや住まいの安全・安心と快適性を確保します

通風・換気への配慮／美しいまちづくり／耐震性の高い住宅・宅地／防災公園の整備
【神谷一丁目地区(東京都北区)における密集市街地の改善】 ほか

⑤皆様と一緒に環境に配慮したライフスタイルを考えます

環境に配慮した暮らし方の提案／UR賃貸住宅における環境負荷の低減
【みなみ野自然塾による地域環境保全活動】 ほか

2. 環境に配慮して事業を進めます

①環境負荷の少ない事業執行に努めます

既存樹木の利活用／環境物品等の調達(グリーン購入)／建設副産物のリサイクル／
平成17年度のマテリアルフロー／UR都市機構の環境配慮推進体制 ほか

②環境に関して皆様とコミュニケーションを深めます

環境報告書の作成／積極的な情報提供／財務状況の公開／社会貢献活動の実施／
住宅性能表示の実施 ほか

< 参考資料 >

■UR都市機構の業務フィールド ■平成17年度 主な業務実績

■平成17年度 年度計画(環境関連部分の抜粋) ■UR都市機構の環境配慮50年の歩み・年表